

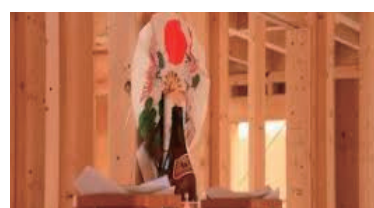
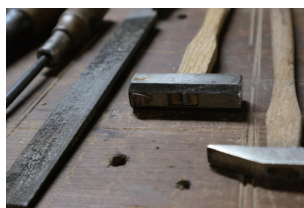


若かりし日の
創業者 菊池恵一
(1985年:昭和60年)

生まれふるさと
寒河江市幸生(さちう)全景

夢を抱き大工の道へ

創業者 菊池恵一は、実家が農家で土地の面積も小さく収穫が少ないため、貧しい暮らしをしていた。父の勧めから大工になり、土地を購入し家を建てたいという願望から独立を決意。初めは下請け業者として木工事の【菊池組】として 1971 年に創業。



苦難の時代

大工数人を抱え元請と下請けの併用をして仕事に取り組み、順調にいていた矢先、元請の倒産により不渡りを食って〈倒産の危機〉に追われる。また当時は、念願の家を山形市へ建てたばかりで借金も多い中、1200 万円の不渡りを食らう。当時の 1200 万円の不渡りは現在の 1 億円以上に値し、倒産のうわさも立つ中、業者さんに迷惑はかけずしっかり支払うため〈莫大な借金〉を抱えるが銀行さんから経営姿勢を信頼していただき、厚いご支援により救われた。

教訓を活かし「菊池イズム」は生まれました…

その 1 年後、この経験を糧にして法人化し〈元請〉に専念するようになった。営業が嫌いな創業者は誠実な仕事をするをモットーに【紹介受注】のみで経営をしていった。紹介は信頼がないと生まれない。こうして菊池イズムは生まれました。

大工社員育成と顧客満足への追求

当時手抜き工事が多かった時代・・・

しっかりとした建物を引き渡したい思いから〈大工社員〉大切に、品質の向上に努めた。

その後、あるセミナーにてお客様へ家の状況を聴くアフターコールを昭和 58 年（1983 年）開始。お客様が 500 件になるまで毎月行っていき、小工事などの依頼も増え紹介もさらに増えていった。750 件になる頃にはスピード対応をするため 3 カ月毎に変更し、現在まで継続している。

『人を財産と考えて育成する』

当時から、経営理念にある『匠の技』と『真心』から信頼を得るという思いが溢れており、信頼を勝ち取るには『人を財産と考えて育成する』という気持ちで経営をしていった。

人を育てることが喜ばせる仕事につながることに重点を置いて利益よりも信頼を重視した思いがある。



35周年大創業祭(平成21年3月)



アフター協力会総会新年会(平成13年1月)



社員旅行__九州(昭和60年2月)



社内旅行__東京(平成12年6月)



写真旅行__ディズニーシー(平成16年)



社員旅行__新潟佐渡(平成22年6月)

Change×Challenge

苦難をチャンスへ変える。

現在の社長 菊池幸生は、創業者の気づき上げてきた経営の想い、姿勢、信頼を元に 2009 年に事業を継承する。

継承後の数年間は・・・苦難の連続だった。
成長路線を掲げ、新たなチャレンジに邁進した。

「人に広めやすくする」ために成文化し
ぶれない姿勢を確立するため【経営指針書】に
〈経営理念〉と〈経営方針〉をまとめる。

また数字を大切にしたい経営の〈見える化〉によって
説得から納得への質的転換に取り組み始めた。

地域の皆さま、お施主さま、業者さま、スタッフの四方良しを掲げ
足元をしっかりと固めつつ、新しいブランド「よいいえ」を構築しながら
ホームページの活用を強化し、新規顧客の開拓にも注力し成長し続けている。

地域に根ざした100年企業へ！

現在、幹部育成に経営者の想いを伝え、会社の歴史（あゆみ）を知った上で
社員一丸になって現在の企業の姿があることを、経営指針書をベースに毎年更新して伝え続けていく。

現在も【紹介受注率 85%】を維持しているのは、こういう歴史があるからこそ、
他社とは違う事業継承が叶っていると考え、お客様の最適な住環境を提供するため、
創意工夫を惜しまず、日々成長し続ける…地域に根ざした 100 年企業を目指している。



代表取締役社長 菊池幸生（2代目）



創業者 菊池恵一
(近影)

